

JST未来社会創造事業 公開シンポジウム

探索加速型 本格研究「世界一の安全・安心社会の実現」領域

ヒト感染性ウイルスを迅速に検出可能なグラフェン FETセンサーによるパンデミックのない社会の実現

キックオフシンポジウム

参加費
無料

プログラム

13:30-13:35 オープニング	開催の趣旨説明 松本和彦（大阪大学）
13:35-13:45 主催者挨拶	田中健一（三菱電機株式会社 技術統轄/JST未来創造事業「世界一の安全・安心社会の実現」領域運営統括）
13:45-14:15 基調講演①	「CMOS電位検出センサアレイ技術によるマルチウイルス検出」澤田和明（豊橋技術科学大学）
14:15-14:45 プロジェクト概要	「集積化グラフェンFETによるウイルス検出」松本和彦（大阪大学）
14:45-15:15 プロジェクト成果①	「社会実装に向けたロバストなグラフェンFETバイオセンサの開発」牛場翔太（村田製作所）
15:15-15:30	休憩
15:30-16:00 プロジェクト成果②	「臨床におけるニーズとウイルス-生体分子相互作用の最新知見」渡邊洋平（京都府立医科大学）
16:00-16:30 基調講演②	「AI ナノポアを用いた感染症迅速検査法」谷口正輝（大阪大学）
16:00-16:30 社会実装への対応①	「グラフェンFETセンサの社会実装に向けての展望」木村雅彦（村田製作所）
16:30-17:00 社会実装への対応②	「ウイルスセンサの社会実装に向けての大学の取り組み」河原敏男（中部大学）
17:30 閉会の辞	松本和彦（大阪大学）



田中 健一



松本 和彦



澤田 和明



牛場 翔太



渡邊 洋平



谷口 正輝



木村 雅彦



河原 敏男

日時 令和 5年 3月15日(水) 13:30~17:30

会場 上智大学 四谷キャンパス 6号館A410（東京都千代田区）

主催 応用物理学会、 科学技術振興機構 松本プロジェクト



※なお、シンポジウム内容や登壇者は変更する場合があります。
当シンポジウムに関するお問い合わせは、
下記Eメールまで直接ご連絡ください。
・お問い合わせメールアドレス
nigs-staff2@sanken.osaka-u.ac.jp
(%を@に変えてください)

